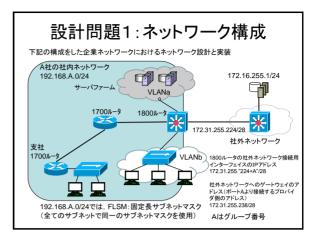
第6回 設計問題1(1)

概要設計と検討の計画



設計問題1:設計条件

A社は、プライベートアドレス空間192.168.A.0/24を使って社内ネットワー サーバファームのVLANaにサーバを2台設置し、情報共有をしている。 また、本社スタッフをVLANbに収容している。

さらに、支社に1700ルータを使って接続、支社のスタッフは1700ルータに収容、 社外ネットワークとの接続のため、172.31.255、"224+A"/28のアトレスを使用. (社外ネットワークは、授業スタッフにて準備・指定した机のホートAより接続) 社内ネットワーク内のルーティングはRIPを使用. 社外ネットワークとは、スタティックルーティングを使用

- (1)この構成で本社スタッフのホストは何台まで収容可能か.
- (1) この情域にポエスタンクの外には同日は、(2) 本社スタップが増えた場合、どのようにすれば良いか、 (可能であればその設定を行い、通信確認すること) (3) 社外ネットワークとの接続は、本社スタッフのみ可(支社スタッフは不可)とする にはどのようにすれば良いか、
- (4)このネットワーク構成の問題点は何か

設計すべき項目と作業

- 与えられたクラスCのIPアドレスをサブネット化し、各ネットワークに割り振る。
- オストのアドレスとして使用可能なアドレスの内、ルータのアドレスと通信確認に 用いるPCのアドレスを決める。また、各装置のどのボートをどの装置に接続するかを決め、ネットワーク図を作成する。
- 通信を可能とするための接続方法、投入コマンド、確認方法などの概略手順を作
- 実際の接続手順、投入コマンド、確認事項、注意事項・補足事項を記した手順書 を作成する。設計のアウトプットは手順書である
 - この際、どの順番で、どの装置に、何をするのかを明確に記述する。
 - 手順書番号を記入すること。
- 来调の実験までに、上記の作業を終える必要がある。
- 来週の実験では、手順書どおりの作業を行い、確認事項どおりの確認結果を得 て、通信が可能であるかを確かめる。
- NGの部分は、手順書の修正を行い、再度実施する。
- グループのリーダを決め、次回集合する日時を決めること。

提出物

『ネットワーク図』、『設計手順書』、『問題の解答』、『プレゼンテーション資料』 を各グループにつき一部提出すること

- 『ネットワーク図』には、各サブネットのネットワークアドレスとマスクおよび 各機器に割り当てたIP addressを記入せよ。
- 『設定手順書』には、設定の時系列に沿って、ネットワーク機器の設定およ び確認項目の手順を記述すること、『設計手順書』の書き方は、次のスライドの設計手順書の書き方に従うこと、また、具体例として実験資料の「実験 手順書」を参考にせよ
- 『問題の解答』には、問題の解答を記述せよ。
- 『プレゼンテーション資料』には、与えられたプレゼン課題について記述せ

提出物はパワーポイント、ワード、あるいはPDFファイルで作成し、ポータル サイトから提出せよ. *締め切り*日時は11月30日(月)の24時とする.

設計手順書の書き方

(X)□□□題目□□□□□

-000注意. 補足0000

手順X-A △△実施内容△△

cn-1・・・コマンド・・ 【··確認事項··】

·×××注意,補足×××

★×××注意. 補足×××

- ←Xは手順項目番号. (X)の次に手順項目題目
- ←手順間にまたがる注意事項. 補足事項
- ←手順項目Xの番号A. 手順X-Aの次に実施内容
- ←どの機器で
- ←投入コマンド(無い場合もある)
- ←コマンド投入後の確認事項(無い場合もある)
- ←注意事項,補足事項(無い場合もある)
- ←特に重要なものに★をつける